

研究

獨逸の運輸狀況と歐羅巴新秩序

多田基

總力戰時代には、直接又は間接に戰爭現象の影響を受けない國民經濟分野は一つもない。併し乍ら平時に於ける用役能力の大部分を直接軍事目的に使ひ、その上平時に比較して著しく増大せる經濟の交通需要に引き立たなければならぬ交通經濟の如くに、戰爭の影響が強く現はれた分野は殆んど他に存在しないであらう。經濟は今や戰爭經濟であるから、一般的交通需要が著しく戰時的意義を持つてゐるのは當然である。

今次大戰の勃發前、既に一般的經濟の膨脹と、獨逸國の擴大とに依つて著しく繁忙を極めてゐた獨逸の交通經濟は、大戰勃發以來特に一九四〇年は異常なる實績を擧げた。利用し得らるゝ限りの輸送力は、鐵道は云ふに及ばず、國內水運、海運及自動車運輸に於いても常に利用され盡してゐるので、戰爭及生活上重要な交通欲望を充たすために全交通機關に統制的規則が必要となつて來た。不急不用な交通需要は、主として旅客輸送、次に貨物輸送に於いて或る



程度節減しなければならなかつた。

○
獨逸の自動車運輸は、自動車が國防軍に徵發され、燃料の割當が統制せられたゝめ、全交通機關の内最も強く戰時法律の拘束を受けた。近年著しく盛んになつた自動車に依る遊覽旅行は、戰爭繼續中停止の止むなきに至つた。これがため遊休するに至つた多數の旅客用自動車は、「應急貨物自動車」として又は特殊な車軸を裝備して貨物運輸に役立つ牽引車として、貨物輸送に利用することになった。

銃後に残れる貨物自動車の配置は、周知の如く、戰爭中は一九三九年十一月六日の國家防衛のための法令に依つて統制されてゐる。この法令の初めには次の如く書かれてゐる。「戰争中本國に殘存せる自動車は先づ必要なる都市並に近接都市交通の運輸に利用するものとす」と。鐵道及國內水運に極めて容易に轉換し得ると思はれてゐる長距離自動車運輸は、從つて必要なる制限を最も強く受けた。とは云へ、全然廢止されるに至らなかつた。一九四〇年五月二十

七日の獨逸交通大臣の命令に依り、長距離貨物運輸の認可附與に關する詳細なる指令が近距離運輸受託官 (der Nahverkehrsbevollmächtigte) に傳達されたので、これに依つて戰爭並に生活に重要な長距離貨物運輸の運行が保證せられたのである。自動車の全體的配置は、近距離運輸受託官の權限下に屬し、受託官は自動車々庫の合理的の利用に對し責任を持ち、自動車、燃料、ゴムタイヤーの分配、必要人員の調達及自動車修繕に協力することになつてゐる。

現在、自動車は規則として運輸團 (Transportgemeinschaft) に統合せられた。元來地域的に統合されたのであるが、他方、部分的ではあるが、實際的な運輸内容に依つても統合された。例へば、戰爭遂行に重要な大建設計畫の材料配給は特別なる運輸團に依つて行はれるのである。不當なる運賃暴騰を防止するため、一九四〇年一月十五日に「近距離自動車運輸の最高運賃法令」が發布された。これに依ると、運賃は事情に應じて即ち日割、時間割賃率、杆數賃率、又は噸杆賃率に依つて定められる。運輸は困難

なる事情が伴ふ時は、例へば建設場に至る道路の便が不利なる時は、以上の賃率に一定の追加賃率が定められてゐる。

工場自家用運輸自動車の利用も又近距離運輸受託官に監督される。獨逸國營鐵道と獨逸郵便省との間には、自動車運輸の總べての重複運輸を例へば旅客運輸に於いても貨物運輸に於いても排除することに關する完全なる諒解が成立してゐる。

定期乗合自動車運輸は、近年獨逸の各地區に亘つて非常な發展を遂げた。この種運輸の必要な制限は、かゝる新式なる運輸利便に頼つてゐる經濟生活に混亂が生じないことを限度として行はれてゐる。

一九三九年十月三日の自動車最高速度の新規定に依り、現存燃料の節約的配給の確保が出來、その上從來不分明な規則に依つて或る程度増加してゐた交通事故の危険を普通の限度に止めることが出來た。而して一般的交通量の縮少に依り交通事故は著しく減少するに至つた。

獨逸の全自動車運輸は戦争に依る制限にも拘らず、自動

車専用道路及國道に於いて試験的に實施せる交通統計の示すに據れば、戰爭中にも拘らず自立の程減退してゐない。獨逸の燃料狀態の誤認の結果、反獨諸國家が推察してゐる如くに、又これ等の敵性國家及無數の中立國に於いて必要と思はれる程に今迄の所自動車運輸を強く抑壓するに及ばなかつたのである。

○

獨逸鐵道の運輸實績は、一九四〇年度は甚だ大にして、適當なる處置に依つて絶えず上昇せしめることが出來た。その上、動員中屢々廣範圍に及んだ直接軍事目的の鐵道運輸には殆んど影響されずに、鐵道運輸を行ふことが出來た。

鐵道運輸に於いても、旅客及貨物輸送の不急なる交通需要は屢々中止された。旅客輸送に於ける運輸増加のための割引策は一時廢止され、貨物輸送に於いては、適當なる規則に依つて、戰爭並に生活上重要な運輸を如何なる事情の下に於いても第一位に置くやう取計はれた。これに依つて招來された制限は、遂行せる膨大なる運輸實績に比較す

れば、それ程大したものではなかつた。七千萬噸の馬鈴薯、二千萬噸餘の甜菜と云ふ記録的收穫に當つて、從來より一層強化された。秋季慣例の運輸需要の増加は、本年は甚だ圓滑に片づけることが出來た。

○
又獨逸の國內水運も、戰爭當初から利用し得る限りの全船舶を凡べて役立たしめ、戰爭中は不可能なる統計發表が後日行はれる時に始めて十分評價し得る如き運輸實績を擧げてゐる。時々、全獨逸の水路運輸を杜絶せしめた一九三九年から四〇年に至る稀らしい酷寒は別として、國內水運の運輸實績を著しく低下せしめる如き事實は全然存在しなかつた。獨逸海運も亦その時々の戰争状態に依つて押し込まれた枠内で、その使命を十二分に敢行し、東海（バルト海）のみならず北海の獨逸諸港は常に激刺たる活動を示した。

○

その他に、戰争中屢々全く消滅したと考へられた商業航

大規模な特別運輸實績の例であつて、これには鐵道、道路

空さへも、短い轉換期の經過後は驚く程廣範圍に、從來の範圍を越えて多くの地方へ進出した。これは、獨逸空軍が獨逸及中部歐羅巴の制空權を掌握すること又獨逸燃料狀況の有利なることを示す證左である。たゞ、獨逸の西部及北部地方に於ける若干の空路は運航が停止してゐる。之に反し、獨逸國と、北部諸國、伊太利、東南歐羅巴及開戦前のソ聯、スペイン及ポルトガル間の商業航空は運行され、特に獨逸國內に於ける航空輸送は勿論活況を呈してゐる。要するに、獨逸の航空輸送は一九四〇年末には、不變と云ふよりは上昇的運輸能力並に活用の姿を示すと同時に、就中獨逸國民の非常なる創造力と建設意欲を現代戰が如何に破壊し得ないかを如實に物語るものである。獨逸產石炭の陸路に依る伊太利輸送及獨逸人のベルチツク地方、前ボーランド領の東部地方、ベツサラビヤ、ルーマニアのブコヴィナ及ドブルツチャからの歸還輸送は、他の軍需的民需的交通欲望以外に圓滑に行はれ、又現在でも行はれつゝある。

及水路が同時に利用されたのである。

○

この他に、獨逸經濟は當面の運輸困難及運輸能力の不足を種々なる工夫に依つて征服することが出來た。發達せる旅客用自動車を應急貨物自動車及牽引車に配置せることは既に述べた。昨年の冬酷寒が不意に訪れ大都市の馬鈴薯輸送が未だ終了しない時、部分的ではあるが、無蓋貨車で馬鈴薯が凍結するのを防止するため、鐵道輸送の馬鈴薯を緩房裝置附の旅客用自動車で輸送することに努めた。一九三九年のクリスマス季節に、ベルリン及その他の大都市に於いて家具の需要が非常に高まり、これを充たすには秋季の運輸能力では困難であつた。早速、この季節に閑散で休んでゐた邊境水路の娛樂用汽船が配置されたので、大量の需要家具を西部獨逸の生産地から運輸し、これを消費都市へ運んだ。特に貨物自動車は、他の運輸機關が混亂し貨物が停滞した時に援助に出て、早速運輸不足を補つたと云ふ好成績を無數に挙げた。獨逸が戰時狀態に入つてから過去十

六ヶ月間に於ける獨逸交通經濟を回顧してみると、その場合、就中この一事だけは、即ちこれ等の運輸實績は同一の地域ではなく絶えず擴大し行く地域に行はれたのだと云ふことを忘れてはならない。今次大戰に於ける獨逸軍の勝利は、その度毎に獨逸の占領地域及獨逸の監視下にある

地域を擴大し、敵の支配せる地域を狹めて行つた。かゝる地域の擴大は、歐羅巴の政治的經濟的新秩序への一步前進であり、この新秩序は既に戦争半ばに於いて全世界を驚かす速度と結果を以て完成されつゝあるのである。經濟新秩序の第一の僕婢であり同時に指導者は、交通利便にして、

これの主なる使命は、歐羅巴大陸に於ける世界經濟の寸斷されたる關係を再び結合し、同時に歐羅巴經濟の確固たる自主的組織を新たに建設することにある。北方の四ヶ國とオランダ及ベルギー間の新經濟關係は既に緒に就き、それの商品交換は主として獨逸領土を經て行はれてゐる。北部並に西北部の邊境諸國と歐羅巴東南部の諸國との國にも新たに重要な經濟上並に交通上の諸關係が生じ、これも亦

獨逸領土を經由して行はれてゐる。これ等凡ての交換關係の取引計算はベルリンにあるライヒス・マルク精算局に於いて決済されることは、この新大陸經濟の自明の構成要素である。大戰勃發以來中歐に位する獨逸國と、歐羅巴の他の諸國との經濟的交通的諸關係は著しく増大し、更に一層上昇せんとする狀態である。就中、獨ソ開戦以前に於ける獨ソ間の商品取引は殷盛を極めるものと觀られてゐた。

既に今次大戰中、歐羅巴の政治的經濟的新秩序が弱體化せる英國に對抗して行はれつゝあるが、これの強力なる內的推進力は、永い間誤認されてゐた自然的地域法則にこの新秩序が如何に適合してゐるか、又この新秩序が歐羅巴大陸の全民族を如何に幸福にし強力化するかと云ふことにする證據である。現在に於いても最後の戦ひの準備を行へる獨逸戦時經濟の凡ゆる使命を果たさねばならない獨逸交通經濟は、今日既に権輿國指導下の歐羅巴の大使命を遂行

すべき過渡的段階に立ち入つてゐるのである。既に今日は、多くの財貨の運輸距離は從來に見ない程擴大し、更に空間的交通諸關係は獨逸運輸組織を通じて行はれてゐる。所がこれは未だ嘗つてなかつたことであり、又あるとしても附隨的な方法で行はれてゐたのであつたが、將來に於いては獨逸經濟の正當的な仕事になるであらう。東部に於ける獨逸の新管區は、一九四〇年に初めて大收穫を得たので、これは嘗ての小獨逸地域の收穫の如くに安全に貯藏して需要地域に分配されねばならなかつた。上シレジヤ地方の全石炭の分配、昔より擴大せる地域への肥料分配、西部獨逸の鐵及石炭經濟とロートリンゲン及ルクセムブルクのそれ等との組み合せは、新交通使命の若干の例である。一九四〇年十月一日に於ける保護領地と他の獨逸本土との間に於ける關稅線の撤廢は、販路地域としての全獨逸地域を保護領地經濟に開拓し、同時に凡ゆる方面に於ける交通經由地としてのベーメン及マーレンの意義を増大せしめた。これは又廣域經濟圈への一步前進である。

○

獨逸國の將來の交通問題の重要性及現在の絶えざる發展は、既に現在戦争中であるにも拘らず、獨逸の交通機關凡ての用役能力の維持並に増大に凡ゆる適當なる手段を講ずるやう強ひるのは言ふ迄もない。これがためには、凡ゆる種類の交通機關の數の増加以外に、就中交通路の完成が必要である。何故なら、優秀なる交通路は最小の労働費用を以て大なる交通用役を獲得するに最も適當なる手段であるからである。この點に關して、多くの新地域特に東部に於いては多くのなすべき仕事がある。その上に、軍事行動が交通網に與へた損害を出來得る限り迅速に修理することは當然主要問題となつて来る。これがため、戰禍に見舞はれた諸地方に國防軍、トット技術團、技術應急隊、獨逸労働奉仕團等を配置して獨逸的確實さと迅速とを以て到る處で修理が行はれてゐる。

獨逸東部の廣汎なる地方に於いては、用役能力の高い交通路の基本的な新規建設は、獨逸生活圈に於ける生活及

經濟文化の水準にその地方を高めることを先づ要求してくるのは當然である。戰爭直後の東部獨逸管區の國道と現在のそれを知つてゐる人のみが、こゝで完成された仕事の相異と大きさを識ることが出来る。一九四〇年から四一年への轉回期に獨逸建設能力と獨逸經濟力の特徴として開通されたデイルシャウに於ける新ヴァイクセル橋は、交通路の強大なる全建設計畫の一部に過ぎない。オーデル河とヴァイクセル河との間の航路であるプロムベルグ運河は、短時間内に完成され十分な水量に依つて現在では獨逸東部の交通に役立つてゐる。又將來の廣域經濟圈中央歐羅巴に對し重要性を持つてゐる交通路たるオーデル・ドナウ運河の工事は戰争中に着手された。アードルフ・ヒトラーの建設意欲と全地方を接合せんとする力が最も力強く表現してゐる自動車専用道路計畫は、廣大なる地域へぐんぐん延びてゐる。新舊領土接續の重要な道路、例へばダンチヒ近くの同廊地帶への路線、管區首都ボーゼンとの連絡路、上シレジヤをクラカウに接続する道路、シユトラスブルクに於ける

ライン河橋に依るエルザスとの連絡路は、既に建設に着手されてゐる状態である。



獨逸運輸事業は、時代の大轉換の眞只中にあつて、来るべき時代の大命達成に萬遺憾なきを期しつゝある。ヒトラー總統が既に一九三三年に將來を見透して計畫せる自動車専用道路及獨逸自動車運輸の獎勵は、今や顯著なる意義を持つに至つた。獨逸交通施設の建設と飛躍は、既に早くより其の他の凡べての交通機關に迄及び、而して又戦争中と雖も撓ゆまざる努力を以て遂行されてゐる。これは、生成しつゝある歐羅巴新秩序の力と成功を最も明白に確實に示す標識の一であると云ふことが出来る。獨逸の技術家達は新交通路の建設がこの新秩序の完成に役立つといふ大使命をヒトラー總統の手から喜んで引き受けて大童の活動をしてゐる。

×

×

×

トルコ大統領は或日議會において演説を行ひトルコの嚴正中立態度を強調するとともにトルコの居中調停による歐洲平和の調整を行ふ用意ある旨左の如く述べた。

今日の世界に極めて緊要なる平和の源にトルコがなり得るならばトルコにとつてこれほど大きな喜びはない、トルコはトルコに対する壓力によつて行動に赴くが如き環境は一切甘受出來ず、トルコの同胞を犠牲にして回教地帶から侵入せんとするものはこれを實力をもつて排撃するとともに政治的、商業的思惑の利益を得るためにこの混亂せる時期を制せんとするものに對しても反対す、今次の悲惨なる戦役は今後更に擴大するであらう。しかもトルコは歐亞の結合點に位置を占め戦争の炎の眞ん中に苦悶してゐるが同時に平和のオアシスとしても存在してゐる。獨土兩國關係は今日までのバルカン方面における事態の展開にのぞみ最も困難なる試練を経てきた余に對するヒ總統の親書及び獨土兩國間の文書交換は相互信賴の雰囲氣を醸成することが出来それ以外獨土關係が友好的に持続してゐることは余の欣快とするところである。この獨土關係はなにもこれを妨害することは出来ないであらう。一方においてトルコは英土聯合に基いて英土關係を保持してゐるのである。